

中学1年 NPO法人企業教育研究会と連携した取組

本校では、平成12年度より、職場体験学習を1年と2年時に2年間に渡って実施してきている。その学習を継続していく中で、課題が顕著に現れてきた。その課題は、①体験する事業所の選択基準を、やってみたい職業や仕事の内容で選ぶよりも、友達関係や楽な仕事にしている生徒が目立った。②事業所から「あいさつが小さい」、「返事が聞こえない」等の応対の仕方や「行動が遅い」、「時間を守らない」、「作業が雑」、「仕事の内容が分からないまま過ごす」等の働くことに対する意識が薄いことを指摘された。③40余の事業所では、生徒が希望する事業所での体験がかなえられない。

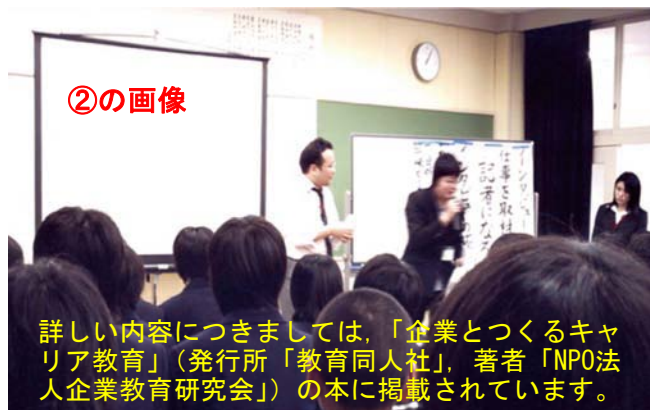
そこで、課題の②の改善として、コミュニケーション能力を高めることを目的として、職場体験学習前の学習プログラムの検討を行った。1年次の特別活動の学習内容と11月に実施する職場体験学習との系統を考慮し計画を立てた。特別活動の項目の中に、「2020年の私にインタビュー」や「身近な人に『仕事』インタビュー」がある。そこで、インタビューをコミュニケーション能力を高める方法として活用することとし、NPO法人企業教育研究会(以後NPO)と連携しての授業作りを行った。

NPO との連携授業の流れ

- i) 仕事取材する記者になろう！(5分)
- ii) インタビューの極意を知ろう！(20分)
- iii) 生でプロのインタビューを聞こう！(20分)
- iv) 休憩・移動(集会室から体育館へ)
- v) インタビューの練習をしよう！(20分)
- vi) 発表をしよう！(10分)



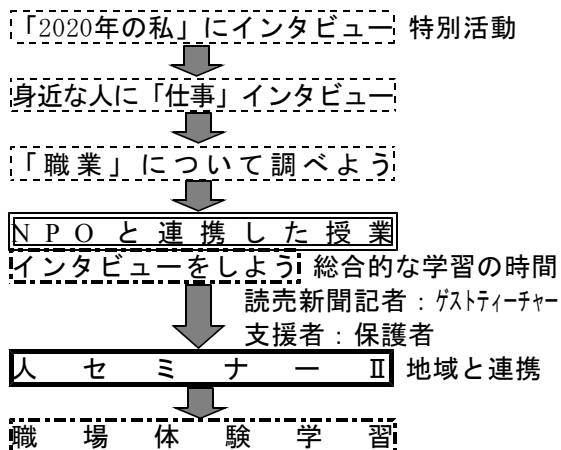
⑤の画像



②の画像

詳しい内容につきましては、「企業とつくるキャリア教育」(発行所「教育同人社」、著者「NPO法人企業教育研究会」)の本に掲載されています。

職場体験学習までの全体構想



NPO との連携授業で支援者として

参加した保護者の声

・子供達は、どんな子も真面目な態度でインタビューに臨んでくれて、活発な授業ができたと思います。私の回答が、まとまらない話になってしまったように思いますが、子供達はインタビュー結果を上手にまとめ上げました。職業にとらわれなくても、沢山の大人の話を聞くという体験だけでも、貴重な時間だと思います。このインタビューの授業は、発展が期待される活動だと思いました。

・なかなか、面と向かって、子供達と真剣に話をすることもなかったで、ちょっとドキドキしました。人のことを知って難しいんだな……と思いました。質問を考えるのも難しいし、それに対して的確に答えるのも結構大変でした。また、自分のことを見直すことができました。

・中学1年生の子供達とコミュニケーションの場を設けて下さって、嬉しく思います。最初は緊張していた子供達でしたが、話すうちに少し笑顔となり、真剣に考えることができていました。一人の男子が「わかんない。わかんない。」を繰り返していましたが、インタビュー後に私の側に来て、「将来、どんな職業に就こうかな! 今やりたい職業が何にもないんだ。」と、話しかけてきてくれました。(少しの間、2人で話しました)インタビュー中は、とても困っていた子でしたが、働くとか職業とかについて、考える良いきっかけになったのではないかと思います。

中学1年 授業展開例（「人セミナーⅡ」の授業までの展開例）

本時の指導① 「インタビューとは？」（その1）

(1) 目標

①集中して話を聞き、インタビューの仕方を理解する。☆

(2) 展開

流れ	活動内容		
	生徒	ゲストティーチャー	教師
ゲストティーチャーの紹介と授業の流れの確認 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 代表生徒の号令で、あいさつをする。 1 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> インタビューの仕方について知ろう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 読売新聞社 新聞記者 岡部 匡志 さん </div>	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーを紹介し、本時の授業の流れを説明する。 本時の目標を確認する。
ゲストティーチャーの話 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> 2 インタビューのポイントを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ①相手に興味をもっているということを示す。 ②読み手が興味をもちそうなことを見つける。 ③相手の考えを深く知るための質問をする。 3 ゲストティーチャーが教師に対して実際にインタビューしている様子を見る。 ☆ <ul style="list-style-type: none"> インタビューをしている様子を見て、疑問に思ったことなどを質問する。 4 インタビューを見ての感想を書き、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記者の仕事は何をするのか生徒に質問する。 ・インタビューの3つのポイントについて説明する。 ・メモ用紙を実物提示機に写しながら実際に教師に対してインタビューを行う。 ・インタビューをする時のメモのとり方を説明する。 ・インタビューの内容を的確な言葉でまとめ、生徒に提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをとりながら聞くように助言する。 ・ゲストティーチャーからのインタビューに答える。 ・インタビューの仕方が理解できたか確認する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習活動の感想を述べる。 代表生徒の号令で、あいさつをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・次時の説明を行う。

本時の指導② 「インタビューをしよう」(その2)

(1) 目標

- ①目的や意図に応じて、考えたことを相手に確実に伝わるように話すことができる。●
- ②相手の意図をつかみながら聞き、話の内容を的確にまとめることができる。○☆★

(2) 展開

流れ	活動内容		
	生徒	ゲストティーチャー	教師
授業の流れの確認 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・代表生徒の号令で、あいさつをする。 1 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">インタビューをしよう。</div>		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業の流れを説明する。 ・本時の目標を確認する。
インタビューを行う (40分)	<ul style="list-style-type: none"> 2 インタビューをする。 ・質問する順番を決めておき、5人1組で地域の大人にインタビューを行う。○● ・回答を聞いて、グループ内で次の質問内容を考える。☆ ・再度インタビューをする。 3 班でインタビューの授業からわかったことを発表する。☆★ ・メモをもとに、インタビューからわかった内容をまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方や聞き方、メモのとり方の確認をする。 ・相手が話しやすくなるような表情やうなずきなどに気をつけさせる。 ・気になる内容にはさらに深く質問するように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ各自で質問内容を考えておくように助言しておく。 ・各グループを回り、さらに深く質問できるよう助言する。 ・話の内容を的確にまとめることができたか確認する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習活動の感想を述べる。 ・代表生徒の号令で、あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の感想を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の感想を述べ、次時への意欲づけを行う。

本時の指導③ 「人セミナーⅡ（働くことの意義）」（その3）

(1) 目標

- ①地域の大人から話を聞き質問することによって、働くということに対する考えを深める。☆★■
- ②地域の大人と積極的にコミュニケーションをとることができる。○●

(2) 展開

流れ	活動内容		
	生徒	ゲストティーチャー	教師
ゲストティーチャーの紹介と授業の流れの確認 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・代表生徒の号令で、あいさつをする。 1 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> インタビューをすることを通して働く意義について考えよう。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを紹介し、授業の流れを説明する。 ・本時の目標を確認する。
ゲストティーチャーの話 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 2 地域の大人の話聞く。 ・聞きながらメモをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事を通して働くということはどういうことかについて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーが話を円滑に進められるように支援する。
インタビューを行う (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 3 地域の大人に働く意義について聞く。 ・質問する順番を決めておき、6人1組で地域の大人にインタビューを行う。○● ・回答を聞いて、グループ内で次の質問内容を考える。☆ ・再度インタビューをする。 4 インタビューからわかったことをまとめる。☆★■ ・働くということについて ・やりがいや生きがいについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ各自で質問内容を考えておくように助言しておく。 ・各グループを回り、さらに深く質問できるよう助言する。 ・書いた内容を見て、働くことに対する考えが深まったか確認する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習活動の感想を述べる。 ・代表生徒の号令で、あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表生徒の言葉の後に感想を述べる。 	

多古町立多古中学校

「人セミナー」について

多古町立多古中学校

1 目的

- (ア) 職業人の話を直接聞くことによって、望ましい勤労観や職業観を身につけるさせる。
- (イ) 地域の大人との関わりを通して、適切なコミュニケーション能力を身につけさせる。
- (ウ) 地域の一員であるという自覚をもたせ、多古町や自分たちの将来設計を考えることができるようにする。

2 2年間の人セミナーの流れ

	時 期／テーマ	主 な 内 容
人セミナーⅠ	1年生1学期 職業と将来の夢	将来の夢について考え、将来就きたい職業を調べ、自分の考えを含め発表する。
人セミナーⅡ	1年生2学期 働くことの意義	働くことの意義について、インタビューを通して確認する。事前にインタビューの練習をしておく。
職場体験学習	1年生2学期	2日間の体験を行う
人セミナーⅢ	1年生3学期 多古町づくり	多古町の将来について考え、まとめたことを発表し、助言をもらう。
人セミナーⅣ	2年生1学期 働くことと貢献	働く意義と貢献について、自分の考えを発表するとともに、助言をもらう。
職場体験学習	2年生1学期	3日間の体験を行う
人セミナーⅤ	2年生2学期 20年後の多古町づくり	多古町の将来像と自分たちの将来設計について考え、20年後の多古町について具体的に提案し、助言をもらう。
人セミナーⅥ	2年生3学期 将来設計	自分の考えた将来設計を発表し、助言をもらう。

3 成果と課題

- (1) 職場体験学習の事前・事後学習として実施しているため、生徒には勤労観、職業観を育てるのに効果的である。
- (2) 地域の大人と関わることで、生徒のコミュニケーション能力に向上が見られる。
- (3) 地域の大人との関わりや多古町の将来を検討する学習を通して、地域の一員であるという自覚をもたせることができた。
- (4) ゲストティーチャーへの依頼や事前の打ち合わせに教師側の準備が必要であるとともに、ゲストティーチャーには生徒の資料に目を通す時間が必要になる。



図1 人セミナーⅡ



図2 人セミナーⅡ

人セミナーの取り組み

本校では、平成16年度から3年間の文部科学省指定「キャリア教育推進地域指定事業」の指定を受け、平成17年2月より「人セミナー」と称し、地域で活躍する職業人から話を聴く授業を展開することで、生徒一人一人の勤労観・職業観の育成を図ることを目的として始めた。

平成16年度は、右図の「人セミナーⅡ」を2月に実施しただけであったが、平成17年度より「人セミナー」の内容を工夫し、生徒が年間を通して地域や保護者の方々とともに活動する「職場体験学習」プログラムの一環として実施するようになった。平成18年度には、さらに右図のような人セミナーの流れを確立した。

本年度「人セミナー」講師の人数は、年間総数120名に参加していただきました。

人セミナーのプログラム

6月	人セミナーⅠ	職業と将来の夢【講義形式】
10月	人セミナーⅡ	働くことの意義【インタビュー形式】
11月	職場体験学習	2日間の体験【体験活動】
2月	人セミナーⅢ	多古町づくり【プレゼンテーション】
5月	人セミナーⅣ	働く意義と貢献【ディスカッション】
6月	職場体験学習	3日間の体験【体験活動】
11月	人セミナーⅤ	20年後の多古町づくり【プレゼンテーション】
2月	人セミナーⅥ	将来設計【プレゼンテーション】

人セミナーⅣ



テーマ ①「何のために働くの」
②「貢献って何」

講師との打合



平成18年5月30日(金)

ご協力ありがとうございました ☺

講師

1組 (株)加藤公平商店代表取締役	加藤 公平 様
2組 萩原歯科医院院長	萩原 承平 様
3組 (株)光自動車代表取締役	大矢 弘美 様
4組 (有)鍋喜金物店代表取締役	並木 憲治 様
5組 (有)菅澤設備工業代表取締役	菅澤 達夫 様



◎「働くとは何か」「貢献とは何か」について考え自分の意見をまとめる。

◎自分の意見や親へのインタビューをもとに、グループディスカッションを行う。

◎身近な大人から話を聞き、職業観、勤労観について理解を深める。(本時)

◎職場体験学習に向け、社会のマナーを学ぶ。

人セミナーⅣの授業風景



私達の考え・・・「何のために働くの」

- ・ 金を稼いで家族のために努力するため。
- ・ 生きがい(楽しみ)のため。
- ・ 人のために、また自分のために働く。
- ・ 生活するため。
- ・ 人生勉強のため。



私達の考え・・・「貢献って何」

- ・ 社会人としての自覚を持って働くこと。
- ・ 誰かのために、何かのために役立つこと。
- ・ 進んで仕事に取り組んだり、お手伝いをする。
- ・ ボランティア活動。
- ・ 働き、自立すること。